

宮崎国際大学教育学部では第4期生が卒業します。今号では本学で4年間を過ごした卒業生の声の特集いたします。



昨年度卒業式後の集会で教育学部卒業生による合唱が披露された様子

宮崎国際大学教育学部ニュースレター

次年度以降の教員採用試験現役合格増及び教員の資質向上に向けた取組について

副学長・教育学部長 福田 亘博



今年度最後の教育学部ニュースレターでは、次年度以降の表題に関する強化策について書きたいと思います。

宮崎県は、最近の教員採用試験の競争倍率低下に何とか歯止めをかけ、倍率をアップさせるために、一次・二次試験の内容を変更しています。すなわち、他県と足並みを揃えて、実技系試

験（一次試験：水泳、二次試験：弾き歌い・体育実技）を廃止し、また、特別選考試験制度を新たに設け、一次試験免除の学校推薦制を取り入れました。二次試験では模擬授業、個人面接、集団討論の枠組みは変更なしですが、集団討論の内容を教育的な課題から幅広いテーマに変更しました（なお、今年度の教員採用試験二次試験では新型コロナウイルスの感染拡大を受け、三密を招く集団討論を中止し、ソーシャルディスタンスのとれる模擬授業と個人面接のみで実施）。今年度はこのような変更により約50人程度の受験者が増えたとのこと。今後、このような増加傾向が続くことを祈念しています。

さて、本学ではこのような宮崎県教育委員会の方針に対応して、教員採用試験対策講座や理数科教育ゼミ等を開講し、素晴らしい成果をあげています。これらを総括的・段階的に充実させながら、さらに集中度を増して実施しています。学生教職支援センターHPに公表していますので、是非ご覧ください。また、二次試験の英会話も評価点が上がったことから、今年度は二次試験対策の中に英会話クラスを設け、強化しています（学生の教員

採用試験後の報告から、目に見えて効果があったようでした）。以上のような教員採用試験現役合格に向けた対策講座や理数科教育ゼミ等により、学生諸君の頑張りがあれば、ほぼ70%～80%の合格率は達成できるようになったと自負しています。

一方、本学部は平成26年度開設後、教育の質向上に向けて教育システムの不断の改善を行うため、高校における成績、入試方法、入学後の学生の成績（GPA）の推移、授業外学習時間との関係などを常に把握し、解析しています。この一環で、基礎学力アップのために理数英（英会話）の補習等を導入しました。また、最近中央教育審議会が、小学校5、6年生における「外国語」「理科」「算数」で教科担任制を導入する方針を決定したことから、学生の理数英教育力をさらに強化する必要があります。その他、ICT教育も導入されます。このように教育の質向上を目指した対策は待ったなしです。

次年度以降、これらの対策講座を順次開講していきたいと考えています。今後とも本学が掲げる「礼節と勤労」の教育理念のもと、学生諸君の教員・保育教諭や公務員になりたいという希望が確実に達成できるように、教職員が一丸となって支援していきたいと思います。

目次

巻頭言	1
第4期生卒業おめでとう	2
卒業生の声	2
4年間の思い出インタビュー	3
卒業論文発表会	3
英検対策講座	4
入試広報部からのお知らせ	4

第4期生、卒業おめでとう！

教育学部教授 渡邊 耕二



みなさんが入学したときに、宮崎国際大学教育学部は完成年度を迎え、1年生から4年生まで揃い、教育学部の活気が高まったことを覚えています。4年間の学びは、どうだったでしょうか。今年度は、オンライン授業が実施されたなど、それまでの当たり前が当たり前でなくなりました。これまで以上に、変化に対する柔軟な姿勢が重要になると感じています。しかし、この4年間で得た知識や経験、やり抜く心、友達

は、どんな変化に対しても糧になるはずです。

卒業後は、それぞれの道で新しい学びと出会いが待っています。アップル社を創業したスティーブ・ジョブズは、“You can't connect the dots looking forward, you can only connect them looking backwards”と言っています。大学での学びと時間を原点の一つにして、10年20年とそれぞれのキャリアを積み重ねてください。

いつかまた、どこかでお会いしましょう。

卒業生の声

大学での学びを生かして

教育学部4年 濱口 真彩

宮崎県公立小学校教員内定(宮崎県立宮崎大宮高等学校出身)



大学4年間の学生生活を改めて振り返ってみると、とても充実したあつという間の4年間でした。学習面では、小学校教諭になるという目標に向かって仲間と共に勉強し、教員採用試験では自分の精一杯の力を発揮することができました。その他の生活においては、行事等

を通して学年や学部を超えてたくさんの学生との出会いもあり、学生生活が充実したものとなりました。

今年は、新型コロナウイルスの影響でオンラインでの講義が増え、仲間と共に学ぶ機会が少なかったことがとても残念でした。しかし、これからさらに発展していくICTを活用した講義を体験することができ、学生生活最後にとっても貴重な経験ができたと感じています。

4月からは小学校で働くことになり、これから変化していく社会や教育、指導方法に多くの不安はありますが、この大学で学んだことを十分に生かし、児童と共に成長する教師になりたいです。

夢を実現できた大学の4年間

教育学部4年 池田 はな

宮崎県公立小学校教員内定(宮崎県立宮崎北高等学校出身)



私は、この大学で小学校教諭になるという大きな夢を叶えることができました。この夢が実現したことは、先生方の心のもったご指導・ご支援と後輩の温かい声援があったからだ実感しています。特に、教員採用試験前の模擬授業に関する対策講座

では、よりよい授業ができるように、多くの先生方が一人一人に熱意をもってご指導くださいました。後輩たちは、私たち4年生のために、応援ビデオやメッセージカードを作ってくれて、改めて多くの人の応援が力になることに気がつきました。

4月からの教員生活は、この大学で過ごした日々とお世話になった先生、出会った学友の存在を胸に、初心を忘れず一生懸命過ごしていきます。そして、子どもたちの無限の可能性を褒めて引き出し、共に成長できる教員になれるよう頑張り続けます。



自分の成長を実感した4年間

教育学部4年 垣元 静香

宮崎県公立小学校教員内定(宮崎県立日南高等学校出身)



私にとって大学生生活4年間は、自分が最も成長できた期間だと感じるものでした。中でも特に、教育実習と教員採用試験対策講座では自分自身の教師としての在り方を見つめなおすことで、教師としての資質・能力をより高めていけたと感じました。

実習では実際に子どもたちと向き合うことで、個に応じた指導や支援の必要性和、家庭や地域と連携した教育の大切さを学びました。また、教員採用試験対策講座では、自身の教育実践力や基礎的・応用的知識・技能などの不十分さを痛感し自分の指導に自信が持てませんでした。しかし、教材研究や模擬授業を繰り返していくことで、教師としての自分に自信が持てるようになりました。

こうして自分の成長を実感できたのも、支えてくださった先生方や友達の存在があったからだと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。本学での学びを糧とし、教員としての使命感を持って、新しく出会う子どもたちとともに教員生活を全うしていきたいです。

夢実現！さらに前へ！

教育学部4年 杉村 茜

宮崎県公立小学校教員内定(日向学院高等学校出身)



私は宮崎国際大学に入学してたくさんの方と出会い、そして教育に関する様々なことを学び経験することができました。特に、小学校教育実習では授業をするに当たっての事前準備等でとても苦労しましたが、それ以上に授業後の児童からの「茜先生、分かりやすかった!」「上手だった!」「楽しかった!」という言葉がとても嬉しく、毎回の授業にやりがいを感じるようになりました。また、実習を通して「教員になりたい!」という気持ちが一層強くなりました。

宮崎国際大学では、1年次から教員採用試験に向けて様々な対策講座が組まれています。今回、試験に合格できたのは、そのような対策講座を実施してくださった先生方をはじめ、一緒に集まって励まし合いながら勉強した友人、そして家族の支えのおかげだと思っています。

宮崎国際大学では、1年次から教員採用試験に向けて様々な対策講座が組まれています。今回、試験に合格できたのは、そのような対策講座を実施してくださった先生方をはじめ、一緒に集まって励まし合いながら勉強した友人、そして家族の支えのおかげだと思っています。

4月から小学校教諭として教壇に立ちますが、この学び舎での経験を活かし、目指す教師像に向かって自分らしく努力していきたいです。

宮崎国際大学で過ごした思い出を、4年生3名に3年生2名がインタビューしました。

宮崎国際大学で過ごして楽しかったことはどんなことですか

全員が共通して、学校行事が楽しかったようです。4年生が2年生のとき、学年全員で一致団結し、大学祭で「チーズハットグ」の屋台を出店しました。国際大学の大学祭の屋台は、売上や人気度等の順位発表もあります。チーズハットグ店は、見事1位に。それが一番の思い出だそうです。その他にも、サークル活動での思い出も語っていただきました。吹奏楽のコンサートをするために自分たちですべてを企画・運営をしたことも大学生だからこそ経験できたものであり、とても楽しかった思い出になっているそうです。

最も印象のある授業はありますか

小幼コースの2名は教科教育法の授業、幼保コースの1名はピアノや声楽等の実技の授業が自分自身の授業力を鍛えるうえで辛かったことも含め印象に残っているそうです。自分で授業を一から作り、うまくいったこともあれば、どんなに準備してもうまくいかなかったこともあったそうですが、その経験すべてが今の自分の力になっているそうです。

大学時代、自分を支えてくれたのは何ですか

楽しかったことはもちろん、つらい経験もしてきた大学4年間。そんな中でいつも支えてくれたのは大学の友達、アルバイト先の友達と口をそろえて教えてくださいました。自分がつらいと思った時に相談したり、自分にはないものを持っている友達から学んだりすることで互いに支え合い、最後まで成し遂げることができた。そして、一緒に笑ったり泣いたりした日々は宝物だと答えてくださいました。

後輩へのメッセージ

<学生のうちにできることにたくさん取り組んで！>

大学では、自分の行動次第でたくさんの経験をするができます。学友会やサークル等で自分たちが企画・運営することや旅行、そして勉強…学生のうちにできることはたくさんあります。それらに全力で取り組むことは、今とてもいい思い出になっており、皆さんにもそんな思い出をつくってほしいと思います。

<挑戦しないことが失敗だ>

教育学部の皆さんは、模擬授業など人前に立つことがたくさんあります。その時、恥ずかしいから、失敗することが怖いからと考え、挑戦をためらってしまうことがあると思います。そんな時は、「挑戦しないことが失敗だ」という言葉を思い出してください。何かに取り組むということが自分の力、土台になっています。頑張ってください。



左から教育学部3年 森川友梨奈(宮崎北高校出身)、4年 桑畑沙希(宮崎南高校出身)、小川鈴香(延岡星雲高校出身)、大野奈々(宮崎学園高校出身)、3年古里陽奈(宮崎日本大学高校出身)

卒業論文発表会講評

教育学部教授 河原 国男



当日前には要旨集録が届けられました。眺めながら、「鬼ごっこ場面」「イナゴ食」「たんぼぼ綿毛のいったきり旅」「天文対話」「バッハ平均律」など、興味を誘う題目や本文中の言葉が目止まる。楽しみながら取り組んだらうな。教員に励まされながら、自分でも気がつかぬうちに、いつのまにか答えを導き出す地点まで。そして最後に、新たな問いにも出会った。そうではないですか？

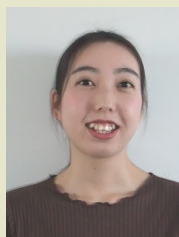
発表会はオンラインでした。私は村端研究室と一緒に。それぞれ5名と5名です。前半は私の研究室、後半は村端研。終わって、対照的な印象がありましたね。一つは、論文本体提出はこれからですが、難関を乗り越え、頑張りました！という安堵感。もう一つは、コアイメージを基にして前置詞を理解する、「有界性」の概念を基に不定冠詞を理解する、など発表内容が新鮮でどこかキラキラしているという感嘆。もちろん一方は、裏側を知る私のゼミ学生に対し。他方は、発表だけを知る村端研学生に対し。どの研究も、きっと両面あるのでしょう。そして、おそらく教員の受けとめも、4年生自身の受けとめも。

本学では、即戦的な就職対策一辺倒ではないのですね。理数系を中心とした基礎学力強化とともに、思考力、探究力、表現力も、おろそかにしない。そういう行き届いた覚悟が、発表会には凝縮している。

卒業論文発表会を終えて

教育学部4年 小谷 麻美

いすず保育園内定(宮崎県立延岡星雲高等学校出身)



今年は新型コロナウイルス感染拡大でオンラインでの開催となりましたが、無事に卒業論文発表会を終えることができ大きな達成感を感じています。

思うように研究が進まず悩んだり、先生や仲間とどうすればよいか時間をかけて意見を申し合ったりしたこともあり。卒業論文が中心となった1年間でしたが、先生や仲間の存在は大きく、おかげで私自身成長することができたと思っています。

卒業論文では「子どもの食育に関する布素材を用いた教材の製作とその活用法について」というテーマで研究をしました。自分の興味のあること・得意なことを生かして研究できたことは、これから保育者になるうえでとても良い経験になりました。一人一人研究分野は違ってもゼミの垣根をこえて互いに励まし合い、高め合いながら過ごした1年でした。

研究を通して、保育活動の展開の仕方や教材に関する課題、そしてこれから挑戦したいことなどを見つけることができたので、今後はその目標に向かって学び続けていきたいと思っています。

英語検定対策講座

英語を継続して勉強するために

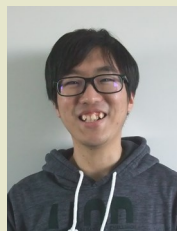
教育学部教授 村端 佳子



本学では英検取得を目指す学生のみなさんに、英検準2級・2級・準1級の対策講座を設けています。英語は使わないと忘れ、長い英文を見ただけで取り組む意欲をなくします。英語能力といっても文法能力、対話能力、語彙力等と様々ですから、対策講座では過去問題に取り組んで、問題形式に慣れ、使われている語彙のレベルにも慣れて、英検1回分の問題に集中して取り組める力をつけることを目指しています。

街には英検の問題集があふれ、図書館に行けばそれを借りることもできます。それでも、通常の授業以外で語学の勉強を一人で継続するのはたやすいことではなく、疑問に思ったことを尋ねる人がいなければ、そのままになりがちです。大学側が準備できるのは、仲間と励ましあいながら「勉強を続ける環境」だと思っています。英検をすでに取得している人でも、英語力持続のために受講しても構いません。英検対策講座を利用して、英語の勉強を続けてもらいたいと思います。

英検対策講座を受講して

教育学部3年 新名 晃士
(宮崎県立日向高等学校出身)

私は、英検2級取得を目指して週1回の対策講座を受講しています。私は1年時からこの対策講座を受講して1年生の秋に準2級を取得しました。今は2級を取得するために勉強を進めているところです。担当の先生は、事前に解いてきた問題の中で、分からなかったところや難しかったところを解説してくださったり、自由英作文に関しては個別指導をして丁寧に添削してくださったりなど、受講する学生が英検を取得できるように全力でサポートしていただきます。

英語は勉強しなければすぐに忘れてしまうので、継続して勉強を続けていきたいです。通常の授業や教育実習などで忙しい日々を送る中、同じ目標を持つ学友と集まって勉強する機会を持つことができありがたいです。英検を取得したい、英語を勉強したいという人は是非、英検対策講座を受講してください。



宮崎国際大学マスコットキャラクター ミック

入試広報部からのお知らせ

お問合せ先

TEL 0120-85-5931

MAIL admissions@sky.miyazaki-mic.ac.jp

LINE相談受付中

「入試制度について知りたい」など、見学会に行くことが出来ない、という高校生・保護者の方のために、公式LINEアカウントのチャット機能をオープンしています。お気軽にお問合せください。



QRコードを読み込んでお友達追加！

EVENT情報

ウェブサイトはこちらから ↓

オープンキャンパス 開催月：7・8月(予定)

内容：学部説明、体験授業、卒業生・在学生体験発表、学食体験、個別相談会 など

週末キャンパス見学会&相談会 開催回数：年8回

内容：学部説明、入試相談、受験対策講座

※日程等の詳細は決定次第本学HPにてお知らせします。

個別の見学会・相談会も受け付けております。ご希望の方は事前に入試広報部までご連絡下さい。



YouTube



宮崎国際大学

〒889-1905 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地

電話：0985-85-5931

FAX：0985-84-3396

ホームページ：<http://www.mic.ac.jp>国際教養学部 比較文化学科
教育学部 児童教育学科

宮崎国際大学